

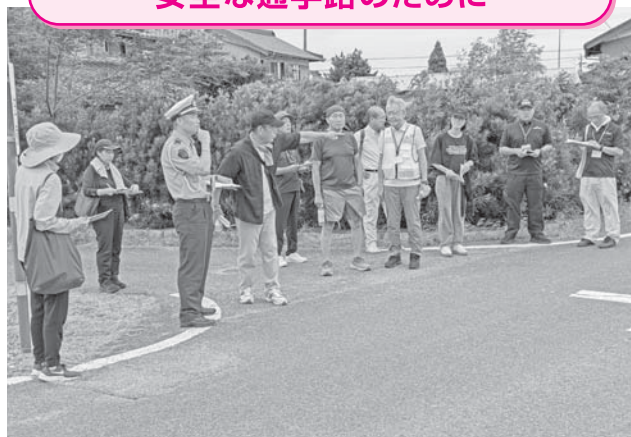
ラジオ体操で健康づくり



7月20日(月)に高田中学校グラウンドにて、高田地区一斉ラジオ体操のつどいが開催され、6時30分から始まるラジオ放送に合わせて、会場に集まった高田地区の住民が一斉にラジオ体操を行いました。ラジオ体操は、国民の体力向上と健康の保持や増進を目的とし、「いつでも、どこでも、だれでも」手軽に取り組むことができる体操です。参加者は夏らしい晴天の下でラジオ体操に取り組み、これからさらに厳しい暑さとなっていく夏を乗り切るため、全身を動かして心地よい汗をかき、爽やかな朝の空気を胸一杯に吸い込みました。

たくさんの地域住民が参加し、健康づくりについて考える機会とするとともに交流の場となりました。

安全な通学路のために



各地区の通学路などに存在する危険箇所の現状を把握するために「通学路等交通安全プログラム」に基づき、町内の小中学校やこども園を3つのグループに分け、それぞれ3年に1回、合同点検を実施しています。今年度は7月27日(月)に高田保育園、日吉小学校、高田中学校、30日(木)に養北小学校において実施しました。子どもたちが毎日の登下校を安全にできるよう、学校や保育園、PTA、区長、養老地区交通安全協会、大垣土木事務所、養老警察署、国土交通省、町建設課、町子ども課、町教育委員会教育総務課などが危険箇所を実際に見て回り、安全を確保するための対策に向けて意見交換をしました。

気は優しくて力持ち



7月20日(月)に勢至山専明寺(鷺巣)において、第13代横綱 鬼面山谷五郎155回忌追悼法要(鬼面山谷五郎顕彰会主催)が行われました。鬼面山谷五郎は、養老町はもとより、岐阜県でも唯一の横綱です。身長186cm、体重140kgと体格に恵まれ、土俵上でも輝かしい成績を残しています。温厚な人柄で孝行心が厚く、両親とふるさとを愛し、飢餓に見舞われたときには、村人の生活を支援したともいわれ、まさに「気は優しくて力持ち」であったと伝えられています。

顕彰会の中村満男会長はあいさつの中で、鬼面山谷五郎の横綱としての強さをはじめ、ふるさとである鷺巣を深く愛したその人柄にふれ、郷土の偉人をたたえました。その後、参加者一同による読経や焼香により冥福を祈りました。

思いやり ゆずる心で 事故防止



夏の交通安全県民運動の実施に伴い、7月13日(月)を西濃地区「交通安全の日」として、自動車の往来の多い交差点や通学路などに警察官や各分会の交通安全協会の役員が立ち、運動の重点項目である子どもと高齢者の交通事故防止や横断歩道における歩行者最優先の徹底、自転車などの安全利用とヘルメット着用の促進などを呼びかけました。

また、運動期間中には、町、養老警察署、養老地区交通安全協会が合同で、町内スーパーなどでの交通安全啓発や町内小学校における下校時の交通安全指導、名神高速道路養老SAでの飲酒運転の根絶やシートベルトの全席着用などの呼びかけを行うなど、町内全地区で交通安全の街頭啓発および広報活動を実施しました。